

物質理学専攻（物理系） 理科教員枠について

平成 19 年度自己推薦入学試験より、物質理学専攻(物理系)では、「理科教員枠」を設け、理科を担当する現職の高校教員で、「大学院修学休業制度」を適用して専修免許状の取得を目指す国公立高校の教員、あるいは私立高校の教員を積極的に受け入れることにしました。この制度の趣旨は、高校の理科教員に大学院において最先端の研究活動に研究者として参加し、科学の楽しさを存分に味わってもらい、高校での理科教育の一層の充実に貢献していただくというものです。

今年度は、物質理学専攻(物理系)の募集人員20名中の若干名を理科教員枠として、通常とは別で合否を判定します。入学後は、基本的には他の大学院生と同様に教育指導を行いますが、必要に応じてチューターをつけるなどして適切な指導を行います。また、TA(ティーチングアシスタント)として優先的に採用します。特に、現職の高校教員というキャリアを生かして、教員志望の学生(学部生、院生)に対する指導の補助を行っていただくことを計画しています。

「大学院修学休業制度」を適用して入学する人は高校を休職することになりますが、この制度を適用せずに入学する人も現在の勤務している高校は休職していただきます。

自己推薦入試志願者には、願書とともに自己推薦書を提出してもらいますが、理科教員枠で受験希望する志願者は、

- 受験の動機
- 大学院での研究をどのように高校理科教育に生かすか

についてもできる限り具体的に述べてください。

さらに詳しいことについては、

寺崎 一郎(物質理学専攻(物理系)教授) terra@nagoya-u.jp

FAX: 052-789-5255

まで問い合わせてください。